

看護学科2023年度1・2年次カリキュラムマップ

◎：深く関係する、○：関係する、△：少し関係する

開講年次	授業科目の名称	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示している修得すべき能力					
		1)豊かな教養と看護の専門職としての高い倫理観 【教養・倫理】	2)適切な看護を提供するために必要な専門的知識・技能 【知識・技能】	3)看護の対象者等と良好な関係性を築き、看護の専門職として意思の疎通を適切に図る力 【コミュニケーション力】	4)個人・家族・集団・地域の健康課題を認識し、その解決に向けて必要な役割を見出し、行動する力 【課題解決力】	5)看護の専門職として、地域の関係者との連携を図り、または多職種との連携を図ることができる力 【地域連携、多職種連携力】	6)看護の専門職として、生涯にわたり向上心を持って学び続け、自らの目標に向かって経験を積み上げていく力 【生涯学習、キャリア形成】
1	にいみの文化	△		△	○	△	◎
1	にいみの保健医療福祉	△	△	△	○	◎	◎
1	にいみ地域協働演習	△		○	○	○	
1	健康科学Ⅰ(健康・医療論)	○	◎	△	○	◎	○
1	健康科学Ⅱ(身体の仕組みと機能)	○	◎	△	○		○
1	健康科学Ⅲ(基礎病態学)	○	◎	△	○		○
1	健康科学Ⅳ(病気の治療)	○	◎	△	○		○
1	基礎ゼミナールA	○	○	◎	◎	△	○
1	哲学	○	△	○	○	△	○
1	文学	◎		◎			△
1	倫理学	△		△	◎	○	
1	美術	△		○			◎
1	音楽	△			△		◎
1	日本国憲法	○	△	△	○		
1	経済学	○	△		△		△
1	社会学	△			◎	△	
1	教育学	○	△	○		○	○
1	心理学	○	○	◎	○	△	○
1	ICTリテラシーⅠ	△	◎	△	○	△	◎
1	ICTリテラシーⅡ	△	◎	○	○	△	◎
1	自然科学Ⅰ	○	◎	△	○		◎
1	自然科学Ⅱ	○	◎	△	○		◎
1	英会話Ⅰ		○	◎			○
1	英語Ⅰ		○	◎			
1	国際コミュニケーション			○			
1	手話	◎	◎	◎	○	○	○
1	国語表現法		○	○			◎
1	スポーツ実習A	○	○	◎	○		◎
1	スポーツ実習B	○	○	◎	○		◎

◎：深く関係する、○：関係する、△：少し関係する

開講年次	授業科目の名称	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示している修得すべき能力					
		1)豊かな教養と看護の専門職としての高い倫理観 【教養・倫理】	2)適切な看護を提供するために必要な専門的知識・技能 【知識・技能】	3)看護の対象者等と良好な関係を築き、看護の専門職として意思の疎通を適切に図る力 【コミュニケーション力】	4)個人・家族・集団・地域の健康課題を認識し、その解決に向けて必要な役割を見出し、行動する力 【課題解決力】	5)看護の専門職として、地域の関係者との連携を図り、または多職種との連携を図ることができる力 【地域連携、多職種連携力】	6)看護の専門職として、生涯にわたり向上心を持って学び続け、自らの目標に向かって経験を積み上げていく力 【生涯学習、キャリア形成】
1	生涯スポーツ論	△	○	△	○		◎
1	医療概論	◎	○	○	○	○	○
1	保健医療統計学Ⅰ（基礎）		△		◎		
1	社会福祉	○	○	○	○	○	○
1	地域ボランティア活動	◎	○	◎	○	○	○
1	人体構造学	○	◎	△	○		○
1	人体機能学	○	◎	△	○		○
1	生命活動と代謝		◎		◎	○	○
1	微生物学		◎		○		
1	病態治療学A（腎・内分泌・代謝）		◎	△	◎	△	
1	臨床栄養学		◎	○	◎	△	
1	基礎看護学概論	◎	○	○	○	○	○
1	健康生活援助技術論	◎	◎	◎	◎	○	○
1	療養生活援助技術論Ⅰ	◎	◎	◎	◎	○	○
1	療養生活援助技術論Ⅱ	◎	◎	◎	◎	○	○
1	フィジカルアセスメント	◎	◎	◎	◎	○	△
1	基礎看護学実習Ⅰ	◎	◎	◎	○	○	○
1	地域看護学	◎	◎	○	◎	○	○
1	成人看護学概論	○	◎	○	◎	○	○
1	老年看護学概論	◎	◎	○	◎	○	○
1	教職基礎論	○	△	○	△	△	○
2	地域防災論	○	○	○	○	△	
2	地域防災演習	◎	○	◎	△		
2	英会話Ⅱ		○	◎			○
2	英語Ⅱ		○	◎			
2	健康科学英語		○	○			○
2	保健医療福祉法制	○	◎	○	◎	◎	○
2	人間関係論	○	○	◎	○	○	○
2	基礎病理学Ⅰ（総論）		◎		○		
2	基礎病理学Ⅱ（各論）		◎		○		

◎：深く関係する、○：関係する、△：少し関係する

開講年次	授業科目の名称	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示している修得すべき能力					
		1)豊かな教養と看護の専門職としての高い倫理観 【教養・倫理】	2)適切な看護を提供するために必要な専門的知識・技能 【知識・技能】	3)看護の対象者等と良好な関係性を築き、看護の専門職として意思の疎通を適切に図る力 【コミュニケーション力】	4)個人・家族・集団・地域の健康課題を認識し、その解決に向けて必要な役割を見出し、行動する力 【課題解決力】	5)看護の専門職として、地域の関係者との連携を図り、または多職種との連携を図ることができる力 【地域連携、多職種連携力】	6)看護の専門職として、生涯にわたり向上心を持って学び続け、自らの目標に向かって経験を積み上げていく力 【生涯学習、キャリア形成】
2	薬と健康		◎	△	○	△	
2	医療情報	○	◎				
2	病態治療学B (脳・神経・運動器・放射線医学)		◎	△	◎	△	
2	病態治療学C (呼吸器・血液・循環器)		◎	△	◎	△	
2	病態治療学D (外科各論・消化器)		◎	△	◎	△	
2	女性の健康と疾患		◎	△	◎	△	
2	小児の健康と疾患		◎	△	◎	△	
2	心の健康と疾患		◎	△	◎	△	
2	薬と疾病		◎	○	◎	△	
2	看護過程論	◎	◎	◎	◎	◎	○
2	健康障害援助技術論Ⅰ	◎	◎	◎	◎	○	○
2	健康障害援助技術論Ⅱ	◎	◎	◎	◎	○	○
2	臨床判断と臨床看護学総論	◎	◎	◎	◎	○	○
2	基礎看護学実習Ⅱ	◎	◎	◎	◎	◎	○
2	在宅看護論	◎	◎	○	◎	○	○
2	在宅看護援助論	◎	◎	○	◎	○	○
2	成人看護学援助論A (慢性期)	◎	◎	◎	◎	○	○
2	成人看護学援助論B (急性期)	◎	◎	◎	◎	○	○
2	老年看護学援助論	◎	◎	○	◎	○	○
2	精神看護学概論	◎	◎	◎	◎	○	○
2	精神看護学援助論	◎	◎	◎	◎	○	○
2	母性看護学概論	◎	◎	○	○	○	○
2	母性看護学援助論	○	◎	○	◎	○	△
2	小児看護学概論	◎	◎	○	◎	◎	◎
2	小児看護学援助論	◎	◎	○	◎	◎	◎
2	公衆衛生看護学概論	◎	◎	◎	◎	◎	○
3	チームアプローチ演習	◎	◎	◎	◎	◎	○
3	英語論文講読		○	○			○
3	保健医療統計学Ⅱ (応用)		△		◎		
3	保健医療福祉行政論	◎	◎	◎	◎	◎	○

◎：深く関係する、○：関係する、△：少し関係する

開講年次	授業科目の名称	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示している修得すべき能力					
		1)豊かな教養と看護の専門職としての高い倫理観 【教養・倫理】	2)適切な看護を提供するために必要な専門的知識・技能 【知識・技能】	3)看護の対象者等と良好な関係性を築き、看護の専門職として意思の疎通を適切に図る力 【コミュニケーション力】	4)個人・家族・集団・地域の健康課題を認識し、その解決に向けて必要な役割を見出し、行動する力 【課題解決力】	5)看護の専門職として、地域の関係者との連携を図り、または多職種との連携を図ることができる力 【地域連携、多職種連携力】	6)看護の専門職として、生涯にわたり向上心を持って学び続け、自らの目標に向かって経験を積み上げていく力 【生涯学習、キャリア形成】
3	カウンセリング	○	◎	◎	○	○	○
3	国際保健論	○	◎	◎	◎	◎	○
3	ボランティア論	○	△	◎	○	○	
3	疫学		○		◎		
3	疫学調査・疫学演習		○	△	◎		
3	地域リハビリテーション論		◎	○	◎	○	
3	地域医療論	◎	◎	◎	◎	◎	○
3	在宅看護実習	◎	◎	◎	◎	◎	○
3	成人看護学援助論C（緩和ケア）	◎	◎	◎	◎	○	○
3	成人看護学実習A（慢性期）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	成人看護学実習B（急性期）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	老年看護学実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	生活支援看護学実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	精神看護学実習	◎	◎	◎	◎	○	○
3	母性看護学実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	小児看護学実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	看護倫理	◎	△	○	○	○	△
3	看護管理	◎	○	◎	◎	◎	◎
3	救命救急医療論	◎	◎	○	◎	◎	△
3	看護生涯教育論	○	△	○	△	◎	◎
3	臨床コミュニケーション論	◎	◎	◎	○	○	○
3	継続看護論	◎	◎	○	◎	◎	○
3	卒業研究Ⅰ（基礎編）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	訪問看護展開論Ⅰ	◎	◎	○	◎	○	○
3	訪問看護展開論Ⅱ	◎	◎	○	◎	◎	○
3	公衆衛生看護活動展開論	◎	◎	◎	◎	◎	○
3	健康教育論	○	◎	◎	◎	◎	○
3	地域保健指導論Ⅰ（基礎）	○	◎	◎	◎	◎	○
3	産業保健	◎	◎	◎	◎	◎	○
3	学校保健	○	○	◎	◎	◎	◎

◎：深く関係する、○：関係する、△：少し関係する

開講年次	授業科目の名称	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示している修得すべき能力					
		1)豊かな教養と看護の専門職としての高い倫理観 【教養・倫理】	2)適切な看護を提供するために必要な専門的知識・技能 【知識・技能】	3)看護の対象者等と良好な関係を築き、看護の専門職として意思の疎通を適切に図る力 【コミュニケーション力】	4)個人・家族・集団・地域の健康課題を認識し、その解決に向けて必要な役割を見出し、行動する力 【課題解決力】	5)看護の専門職として、地域の関係者との連携を図り、または多職種との連携を図ることができる力 【地域連携、多職種連携力】	6)看護の専門職として、生涯にわたり向上心を持って学び続け、自らの目標に向かって経験を積み上げていく力 【生涯学習、キャリア形成】
3	健康相談活動	△	◎	◎	◎	◎	○
3	養護概説	◎	◎	○	◎	◎	◎
3	学校救急処置	△	◎	○	◎	○	○
3	教育原理	△	◎	○	△		○
3	教育心理学	◎	◎	○	◎	○	○
3	特別支援教育	◎	○	◎	○	◎	△
3	基礎教育、特加活動及び総合的な学習の理論と方法	◎	△	◎	△	○	○
3	生徒指導論	○	○	○	○	○	○
3	教育相談（養）	○	○	○	○	○	○
4	統合実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	臨床援助技術論	◎	◎	◎	◎	△	○
4	インターンシップ実習	○	△	○	△	◎	◎
4	卒業研究Ⅱ（応用編）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	訪問看護展開論実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	公衆衛生看護管理論	◎	◎	◎	◎	○	◎
4	地域ケアシステム論	○	◎	◎	◎	◎	○
4	地域保健指導論Ⅱ（応用）	○	◎	◎	◎	◎	○
4	公衆衛生看護学実習Ⅰ（基礎）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	公衆衛生看護学実習Ⅱ（応用）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	養護実習指導	○	○	◎	◎	◎	◎
4	養護実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	教職実践演習	◎	◎	◎	◎	◎	◎